

🐾 退院後の痛みに関するご注意 🐾

下記の場合は、痛みを感じている可能性があります。
獣医師の指示に従って、痛み止めのお薬を飲ませ
ましょう。

犬

- 元気がない
- ハアハアするのが続く
- 鳴く、うなる
- 患部をなめる、咬む
- 眠らない
- 動かない
- しっぽをあまり振らない
- 攻撃的になる

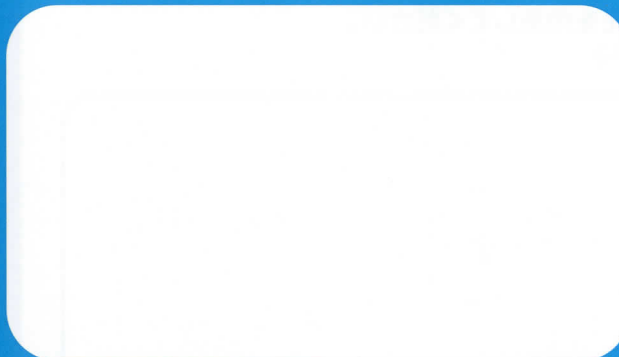


猫

- 瞳孔が拡大している
- うなる
- 遊ばない、無関心
- シャーシャー言う
- 隠れる
- 毛づくろいしない



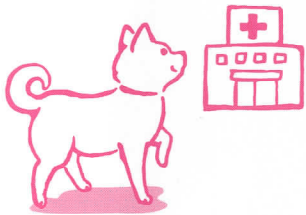
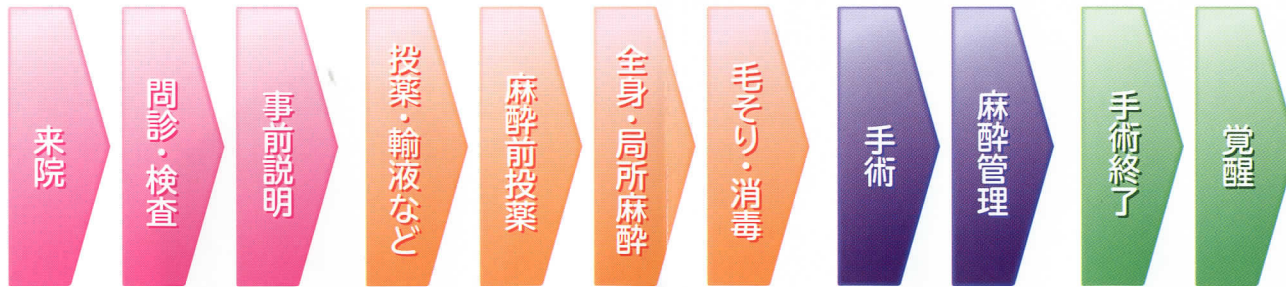
🐾 病院スタンプ面 🐾



手術を受けるにあたって



手術の流れについて



【手術前日～当日のご注意】

- 手術前日の()時からは食事を与えないでください。
- 手術当日の()時からは水を与えないでください。
- 手術当日の健康状態によっては手術ができません。前日に異常があった場合は、記録しておいてください。(糞や尿の状態、行動の異常など)
- 当日は連絡がつきやすいように、携帯電話番号や緊急連絡先を用意してください。
- その他

退院後の生活や行動に関して

- 退院後すぐは、麻酔やお薬でボーっとしている場合がありますが、しばらくすると徐々に元気になります。
- 術後の食事は獣医師の指示に従ってください。
- 気温が高すぎず、寒すぎない場所で安静に眠れるようにしてあげてください。動き回るようであれば、ケージやサークルなどに入れると良いでしょう。
- エリザベスカラーをつけている場合は、嫌がってもなるべく外さないようにしてください(傷をなめたりかじったりして、糸や包帯を取ってしまうと、回復が遅れたり再手術が必要になることがありますので、ご注意ください)。
- ある程度傷が回復するまで、外出は控え、散歩は短めにしましょう。
- 痛みを感じているようであれば、獣医師の指示に従ってお薬を飲ませてください。

次の場合はすぐ病院に連絡してください。

- ・数時間経っても、ぐったりしている場合や起き上がらない場合
- ・ヨダレがずっと出ていたり、吐いたりした場合
- ・けいれんしたり、痛そうだったり、弱っている場合
- ・食事や水をとらない場合
- ・糸を取ったり、傷口をなめるなどして、出血している場合
- ・手術部位に異常がある場合(骨折の固定が外れている、膿が出ているなど)
- ・糞や尿を失禁した場合
- ・下痢や軟便などが見られた場合
- ・その他様子がおかしいと感じた場合